

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

FD研修会を定期的で開催し（現在春学期・秋学期にそれぞれ1回の開催）、カリキュラム、シラバスについて検討を続けており、履修者が積極的に参画できる授業運営についてさらに継続して検討していきたい。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

キリスト教神学・伝道者コース生には、2004年度から現職の伝道者を講師として招聘し、必修科目「今日の教会A-D」を開講している。その科目のなかで大学院前期課程進学後の教会実習に備えるため、教会の現状・課題・使命や牧師の職務などを実践的に学んでいる。

学内第三者評価

討論形式・対話形式の授業は、教師と学生の双方向的授業の一つのあり方として評価できる。研究科に関して、認証評価は教会実習や病院実習の充実を説いているが、これは学部にも当てはまる。インターンシップやボランティアの科目として取り込むことを考えることが望まれる。

なお、特別委員からは以下の意見があった。
・FD研修会が定期的で開催されていることは評価できる。受動的な研修だけでなく、教員相互の授業参観などをして研鑽しあう公開授業なども効果があると思われる。